

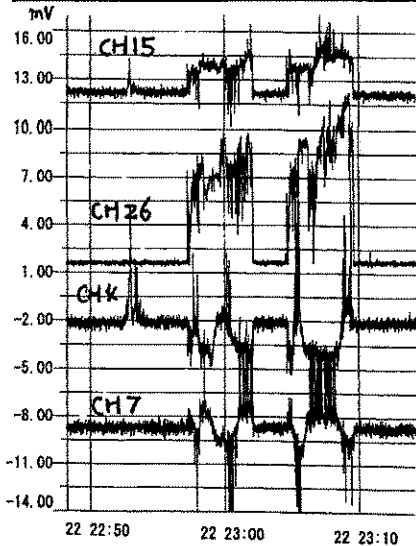
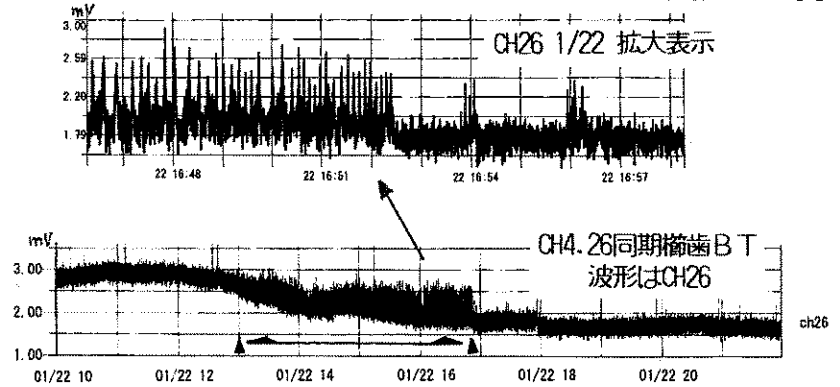
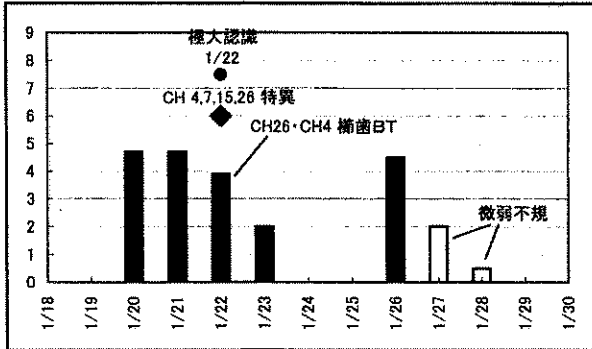
原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 地殻大型地震の可能性前兆 続報

★当該前兆につきましてはNo.069 ~075(10月21日付更新)の続報に詳しくまとめさせて戴きました。こちらもお読み下さい!

1月22日直前特異の可能性観測 12月4日±終息の可能性有



No.1778長期前兆の第7ステージ認識、極大は2013年11月07日認識です。当該ステージの初現は明確ではありませんが、第5ステージの初現頃である可能性も考えられました。この場合は2014年12月初旬時期に静穏化する可能性が計算されていましたが、12月04日に長期継続したNo.1778前兆の代表変動観測装置であるCH21の特異状態が静穏化し、静穏通常基線を記録しました。但し、No.2443前兆(詳しくは実験観測情報のみで公開)が顕著化したのに合わせて、再びCH21の特異が出現いたしました。2014.12/4にNo.1778前兆が静穏化したのか確認できないことから、仮に12/4±に静穏化した場合には、前兆静穏化後に出現する直前特異(前兆極大~発生= T_{map} 直前特異~発生= T_{pa} としたとき、 $T_{map}:T_{pa}=6:1$ 経験則有)が、2015.1/22±に出現する可能性が示唆されました。

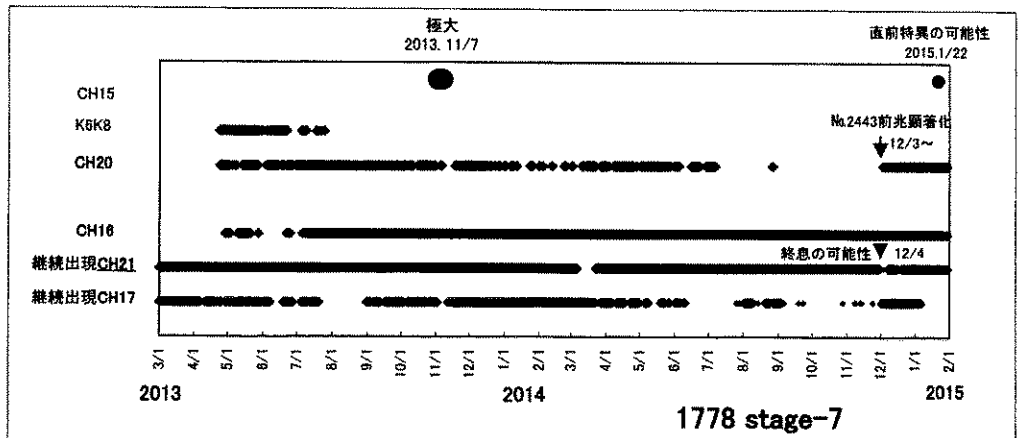
1/20より上波形のとおり、CH26とCH4に時刻同期で基線が太くなる前兆が出現いたしました。この基線幅増大は通常のBTとは異なり、上拡大波形のとおり、基線から針状に突出した櫛歯変動で基線が太く見える変動で、これは地殻地震特有の櫛歯BT変動です。左上グラフのとおり期間出現し、1/22には左波形のとおり、複数観測装置に同期特異状態が観測されました。この1/22を中心とした特異状態、櫛歯前兆は、影響局からも、No.1778前兆の直前特異である可能性も示唆されます。(実験観測情報では日々報告済)

1/22極大認識の上の現象は他に観測されている別活動前兆との相関も認められないことからNo.1778関連の現象である可能性が否めません。

試計算通りの2014.12/4±に静穏化変化が認められ、これが正しい場合に試計算される1/22に直前特異と認識できる前兆変化が認められたことは、偶然としてはあまりに計算値と合います。

2013.11/7極大、2015.1/22直前特異の認識が仮に正しい場合には、2015年04月20日±が発生時期として計算できます。但し、現在No.2443認識前兆が継続出現中で、上図のとおり、No.1778関連観測装置も前兆が継続しておりますため、No.2443前兆が終息した時点で、前兆が全て終息しているかを確認する必要があります。

No.2443前兆とNo.1778前兆は影響局が同じ周波数帯に異なる地域に複数あるため、前兆出現の共通モニターが複数あります。



No.1778前兆とNo.2443前兆が本当に別地震前兆なのか、同一地震前兆の別形態前兆ではないのかも含め現在調査検討中です。

次頁に、No.1778前兆が近畿圏で正しいのか、当初推定した東北圏の可能性は完全に否定できるのかも含め、PHP新書「地震予報」に記したとおりの検討を再度試みております。次頁の図を参照下さい。C) Copyright 2014 YSBO 八ヶ岳南麓天文台

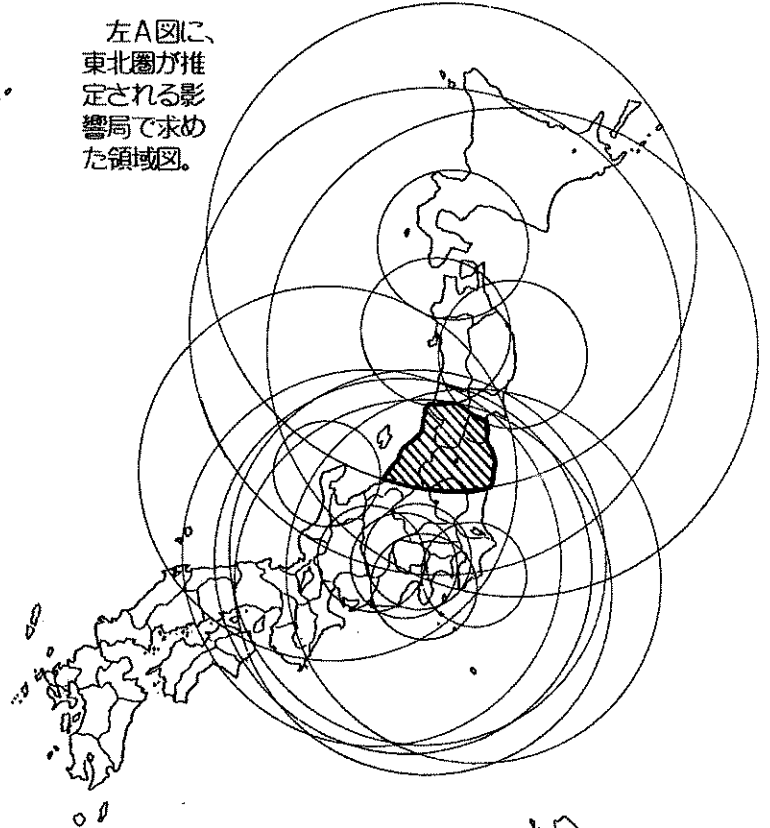
No.1778 地殻大型地震の可能性前兆 続報 推定領域再調査検討

No.1778前兆認識変動の中で、明確で主な前兆の影響局のみで作図した推定領域(斜線域)図。PHP新書地震予報で示したものと、ほぼ同じ図。但し外限界円のR値を750で作図。

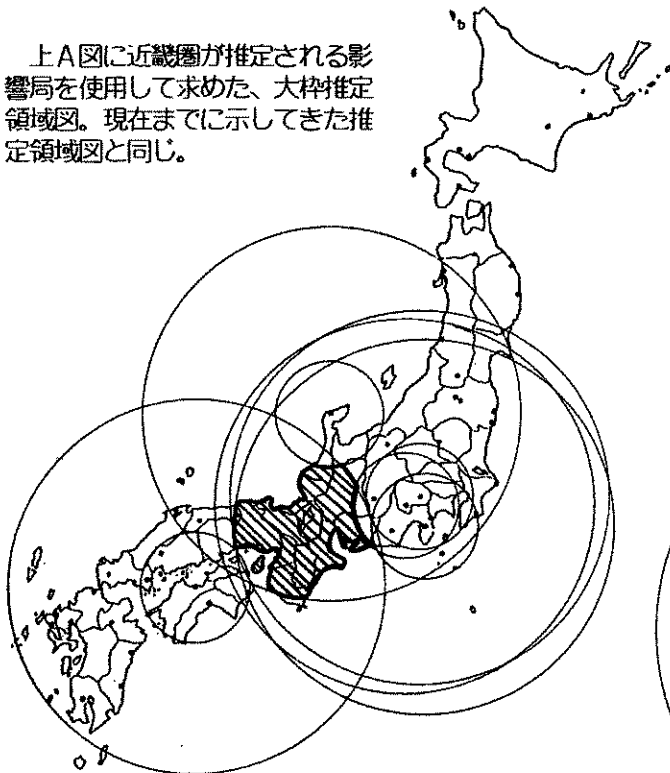
(実験観測情報では昨年中に報告致しましたが、最近までの観測から検知領域円を求める $D=P \cdot 0.25 \times R$ 式
D=局からの距離km
P=局出力kw
R=係数
の外限界 R値を750に修正)



左A図に、東北圏が推定される影響局で求めた領域図。



上A図に近畿圏が推定される影響局を使用して求めた、大枠推定領域図。現在までに示してきた推定領域図と同じ。



A図にNo.1778前兆の全ての影響局で近畿圏が推定される局を使用して求めた領域図。琵琶湖より東側で入らなく可能性もある。こちらはあくまで参考推定領域図。

